

スポーツ振興計画 具体的施策

進捗状況確認・評価シート集

基本目標 1

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標 1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる				
基本方針	(1)	身近なスポーツ機会・情報の提供				
基本方針詳細	(1) - 1	身近なスポーツ機会の提供				
		生涯スポーツを通じた健康づくりの重要性が高まりつつあるため、全ての市民が各々の関心・適性などに応じて日常的にスポーツに親しむための活動に参画できるように、また、新しくスポーツを始めるきっかけとなるように、身近なスポーツ機会を提供します。				
具体的施策	①	スポーツ大会・イベントの充実				
具体的内容		鯖江市が中心となって開催している全市民的なスポーツ大会・イベントについては、より多くの市民が興味・関心を持ち、参加者、運営者、応援者、ボランティアなど様々な形で気軽に参加しやすくなるように、その内容や運営に工夫・改善を加えます。				
具体的展開		①つつじマラソンの開催 ②鯖江市民体育大会の見直し・充実⇒22種目で開催しているが、各地区がより参加しやすくなる種目をとりいれたり、現行種目も見直す。(H21ショートテニス、H22マレットゴルフ) ③市長杯など各種スポーツ大会の開催 ④鯖江市民スポーツふれあい事業の拡大・充実⇒10月をスポーツ強化期間として、各地区でウォーキングなどのイベントを実施したり、総合体育館でも全市民を対象にイベントを行う。				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティスポーツクラブ
	24年度	①つつじマラソン 陸上競技場公認コース 21種目 申込人数3,789人、完走者数3,473人	②鯖江市民体育大会 20種目、公開1競技 ③市長杯など各種スポーツ大会(体操、ソフトボール他)全27大会 ④・鯖江市民スポーツふれあい事業(総合体育館等1,630名、地区スポーツふれあいDAY 2,117人) ・地区体育大会 ・市民なわとび大会800名 ・市民ボーリング大会 ・体育協会加盟団体60団体(地区体協10地区、種目団体43団体、総合型3クラブ、スポーツ推進委員、学校体育研究部、中学校体育連盟、スポーツ少年団) ・H24 市長杯他スポーツ活動参加者総数述べ 34,731人	①つつじマラソンでの手荷物係等のボランティアスタッフを派遣した。	①給水所協力	④なぎなた交流大会、ボウリング大会、野球交流大会、鯖北杯フットサル大会、スポーツクラブ共催スポーツフェスタ
25年度	①つつじマラソン 陸上競技場公認コース 21種目 申込人数3,880人、完走者数3,473人	②鯖江市民体育大会 21種目 ・鯖江市民体育大会の見直し・充実(得点制度の見直し) ③市長杯など各種スポーツ大会(体操、ソフトボール他)全27大会 ④・鯖江市民スポーツふれあい事業(総合体育館等2,133名、地区スポーツふれあいDAY 1,649人) ・地区体育大会 ・市民なわとび大会900名 ・市民ボーリング大会 ・体育協会加盟団体60団体(地区体協10地区、種目団体43団体、総合	①つつじマラソンでの手荷物係等のボランティアスタッフを派遣した。 ④間部の殿様ふるさとウォーキングに、リスタートフレッシュアップ事業で生まれたノルディックウォークが初参加。総合型クラブと地区公民館の連携が始まった。	①給水所協力	④なぎなた交流大会、ボウリング大会、野球交流大会、鯖北杯フットサル大会	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標 1

			<p>型 3 クラブ、スポーツ推進委員、学校体育研究部、中学校体育連盟、スポーツ少年団)</p> <p>・H25 市長杯他スポーツ活動参加者総数 述べ 35,239 人</p>			
26 年度	<p>①つつじマラソン 陸上競技場公認コース 21 種目 申込人数 3,856 人、完走者数 3,484 人</p>	<p>②鯖江市民体育大会 20 種目 ③市長杯など各種スポーツ大会 (体操、ソフトボール他) 全 27 大会 ④・鯖江市民スポーツふれあい事業 (総合体育館等 1,902 名、地区スポーツふれあい DAY 1,353 人) ・地区体育大会 ・市民なわとび大会 800 名 ・市民ボーリング大会 ・体育協会加盟団体 61 団体 (地区体協 10 地区、種目団体 44 団体、総合型 3 クラブ、スポーツ推進委員、学校体育研究部、中学校体育連盟、スポーツ少年団) ・H26 市長杯他スポーツ活動参加者総数 述べ 35,240 人</p>	<p>①つつじマラソンでの手荷物係等のボランティアスタッフを派遣した。 ④間部の殿様ふるさとウォーキングに、リスタートフレッシュアップ事業で生まれたノルディックウォークが参加。</p>	①給水所協力	④なぎなた交流大会、ボウリング大会、野球交流大会、鯖北杯フットサル大会、スポーツクラブ共催スポーツフェスタ、ウォーキング (三国日本海ハイウオークに参加)	
27 年度	<p>①つつじマラソン 陸上競技場公認コース 21 種目 申込人数 3,821 人、完走者数 3,498 人</p>	<p>②鯖江市民体育大会 20 種目 ③市長杯など各種スポーツ大会 (体操、ソフトボール他) 全 27 大会 ④・鯖江市民スポーツふれあい事業 (総合体育館等 2,133 名、地区スポーツふれあい DAY 1,649 人) ・地区体育大会 ・市民なわとび大会 900 名 ・市民ボーリング大会 ・大相撲鯖江場所の開催 ・体育協会加盟団体 62 団体 (地区体協 10 地区、種目団体 45 団体、総合型 3 クラブ、スポーツ推進委員、学校体育研究部、中学校体育連盟、スポーツ少年団) ・H27 市長杯他スポーツ活動参加者総数 述べ 30,697 人</p>	<p>①つつじマラソンでの手荷物係等のボランティアスタッフを派遣した。 ①つつじマラソン開会式にてキッズダンス「レガル」の子供達が国体ダンスを披露した。 ④間部の殿様ふるさとウォーキングに、リスタートフレッシュアップ事業で生まれたノルディックウォークが参加。</p>	①給水所協力	④なぎなた交流大会、ボウリング大会、野球交流大会、鯖北杯フットサル大会、鯖北 C S C スポーツフェスタ、ウォーキング (若狭さとうみパークに参加)	
28 年度	<p>①つつじマラソン 陸上競技場公認コース 21 種目 申込人数 3,379 人、完走者数 3,057 人</p>	<p>②鯖江市民体育大会 20 種目 ③市長杯など各種スポーツ大会 (体操、ソフトボール他) 全 27 大会 ④・鯖江市民スポーツふれあい事業</p>	<p>①つつじマラソンでの手荷物係等のボランティアスタッフを派遣した。 ④間部の殿様ふるさとウォーキングに、リスタートフレッシュアップ事業</p>	①給水所協力	④なぎなた交流大会、ボウリング大会、野球交流大会、鯖北杯フットサル大会、鯖北 C S C スポーツフェスタ	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標 1

			(総合体育館等 1,716 名、地区スポーツふれあい DAY 1,695 人) ・地区体育大会 ・体育協会加盟団体 62 団体 (地区体協 10 地区、種目団体 45 団体、総合型 4 クラブ、スポーツ推進委員、学校体育研究部、中学校体育連盟、スポーツ少年団)	で生まれたノルディックウォークが参加。		
これまでの進捗状況のまとめ	年々着実に人気が高まり、平成 24 年度以降は申込が 3,700 人を超える大きな大会となっている。なお、平成 28 年度に関しては、開催期日がゴールデンウィーク最終日と重なったこと、また、総合体育館が耐震補強工事で利用できなかったことが影響し、申込が減少したものと考えられる。	市より 6 事業 (体育協会育成事業、県民スポーツ祭参加事業、市民ふれあい事業、村上市交流事業、各種スポーツ大会開催事業、市民体育大会開催事業に村監視)を一括して交付金事業として体育協会が実施しており、協会の加盟団体のほか関係団体の協力を得て、順調に実施されている。	つつじマラソンは毎年継続的に実施。ふるさとウォーキングも定着してきた。			上記 5 大会については定着したが、参加人数、内容については検討の余地あり、改善策が必要。
今後の課題	参加者数ベースで 3,000 人を超えた平成 21 年ころから、スタート時間設定・コース設定などの技術的問題、トイレ・参加者用駐車場の不足など、ソフト・ハードの両面で運営上の課題が生じており、種目やコースの設定、会場配置等、あらかじめ時間をかけて検討する必要がある。	多くの事業が実施されているが、さらに多世代、多志向を取り入れる工夫が求められている。		鯖江市が中心となって開催している全市的なスポーツ大会・イベントに参加出来るよう、運営に工夫・改善を加えます。		大会参加者の増大、新規種目の大会開催企画
新たな具体的展開	気候・天候に恵まれた時期に行われる大会として定着しており、参加者の評価もおおむね好意的であることから、基本的な運営方針は継続しつつ、参加者数の増加にも対応できるよう、片道でのコース設定についても、関係者間で可能性を検討していく。	ニュースポーツ団体などを体育協会の加盟団体として積極的に受け入れ、幅広い年齢層を対象とした取り組みに努めている。		今後の課題に同じ		従来、個々のサークルで開催していた大会 (たとえば柔道大会など) を、鯖北杯として、充実を図る。
中間評価 (効果・有効性等)	進捗状況の評価	今後の方向性の確認	推進委員会の提言			

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる		
基本方針	(1)	身近なスポーツ機会・情報の提供		
基本方針詳細	(1)-1	身近なスポーツ機会の提供		
		生涯スポーツを通じた健康づくりの重要性が高まりつつあるため、全ての市民が各々の関心・適性などに応じて日常的にスポーツに親しむための活動に参画できるように、また、新しくスポーツを始めるきっかけとなるように、身近なスポーツ機会を提供します。		
具体的施策	②	地域性を活かしたスポーツイベントの充実		
具体的内容		地区レベルでのスポーツイベントについては、地区体育協会や総合型地域スポーツクラブなどが中心となって、地域の特色や地域住民の意見を取り入れた個性豊かなプログラムづくりに取り組めます。		
具体的展開		①各地区、各種目団体が企画するイベントの開催⇒地区体育大会、町内対抗各種大会、種目協会が開催する種目別大会、スポーツフェスタ 【2-(3)-③で再掲】		
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市体育協会	さばえスポーツクラブ	鯖江北コミュニティースポーツクラブ
	24年度	・鯖江市民体育大会 20種目、公開1競技 ・鯖江市民スポーツふれあい事業（総合体育館等 1,630名、地区スポーツふれあい DAY 2,117人） ・地区体育大会	・スポーツフェスタの開催。カレーショップ開店、スポーツ・ニュースポーツの体験をしてもらった。 ・スポ婚 2012 の開催。スポーツを通しての男女の出会いのきっかけ作りをした。	スポーツイベントとして、なぎなた交流大会、野球交流大会、鯖北杯フットサル大会、ボーリング大会を実施している。
	25年度	・鯖江市民体育大会 21種目 ・鯖江市民スポーツふれあい事業（総合体育館等 2,133名、地区スポーツふれあい DAY 1,649人） ・地区体育大会	・市内小学校高学年対象の陸上教室の開催。 ・スポ婚の開催。地域のニーズを考えた、中高年層のスポーツ&婚活。	スポーツイベントとして、なぎなた交流大会、野球交流大会、鯖北杯フットサル大会、ボーリング大会を実施している。
	26年度	・鯖江市民体育大会 20種目 ・鯖江市民スポーツふれあい事業（総合体育館等 1,902名、地区スポーツふれあい DAY 1,353人） ・地区体育大会	・市内小学校高学年対象の陸上教室の開催。	前年に同じ。ウオーキング協会の事業にバスで参加（三国、日本海ハイウオークツアー）
	27年度	・鯖江市民体育大会 20種目 ・鯖江市民スポーツふれあい事業（総合体育館等 2,133名、地区スポーツふれあい DAY 1,649人） ・地区体育大会	・葛西紀明氏の講演会を開催。レジェンドからスポーツの面白さや厳しさを学んだ。 ・菜花まつりにてノルディックウォーク教室を開催。	上記のほかに28年3月にスポーツフェスタを開催した。福井国体のキャラクタハピリュウも参加し、ハピネスダンスを踊り、8つの種目の体験教室を開催し、各サークルの会員が自主運営した。当日の参加者は約300人。ウオーキングは若狭さとうみパークに参加
	28年度	・鯖江市民体育大会 20種目 ・鯖江市民スポーツふれあい事業 ・地区体育大会	・スポ婚 2016 の開催。 ・クラブ体験フェスタの開催。クラブのいろいろな活動を1日凝縮体験してもらった。	新イベントとしては鯖北杯柔道大会を開催する。主管は實心館仲保道場。また3月に10周年企画としてスポーツフェスタを計画している。会場は中央中、神明小を予定、
これまでの進捗状況のまとめ		毎年、地区体育協会が主となって市民体育大会が開催され、また地区公民館と協働して地区体育大会が開催されている。また10月は、鯖江市民スポーツふれあい事業として各地区で様々なスポーツイベントが開催されている、	地域性住民のための、スポーツイベントを毎年趣向を凝らして開催している。	4つのイベントは、継続しており、定着したと思う。
今後の課題		市民体育大会は競技志向の高い種目が多く、選手集めに大変苦労しており、今後、大会種目を含めて大会運営の在り方の検討が必要である。	魅力あるイベントを企画・運営するには、スタッフ数が十分でない。	今後も継続する予定。ウオーキングは内容的には良いが、参加者が少ないことを反省（広報が不足）また、年1回だけでなく、独自企画も含めて充実したものが必要。スタッフ強化も必要。
新たな具体的展開		市民体育大会については、多世代、多志向のなか様々な意見があり、運営方法について協議中。	情報発信を仕掛け、ボランティアスタッフの確保を心がける。	鯖北杯柔道大会を予定。（従来はサークルへの支援金の提供）スポーツフェスタは会員の参加率も多く、競技の公開、体験教室を通じて会員増加も可能で、今後、強力で推進したい。

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価		今後の 方向性の 確認		推進委員 会の提言	
---------------	-------------	--	-------------------	--	--------------	--

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる			
基本方針	(1)	身近なスポーツ機会・情報の提供			
基本方針詳細	(1)-1	身近なスポーツ機会の提供			
		生涯スポーツを通じた健康づくりの重要性が高まりつつあるため、全ての市民が各々の関心・適性などに応じて日常的にスポーツに親しむための活動に参画できるように、また、新しくスポーツを始めるきっかけとなるように、身近なスポーツ機会を提供します。			
具体的施策	③	健康教室・スポーツ教室の開催			
具体的内容		ライフサイクルによって異なる多様なニーズの把握に努め、利用者にとって魅力のある健康教室・スポーツ教室を開催し、身近なスポーツ活動に対する意識啓発、および参加者の満足度と参加率の向上に取り組みます。			
具体的展開		①運動の楽しさを体験できる幼児向け教室⇒幼稚園、保育園児の幼児ふれあい教室 ②体力の向上、競技力の向上のための児童・生徒向け教室⇒各スポーツクラブのスクール、教室 ③親子や家族でスポーツを楽しめる親子・家族向け教室（新規）⇒各スポーツクラブの教室（例：遊びの体力・知力アップ事業） ④スポーツ活動に取り組みにくい世代（青壮年）向け教室⇒各スポーツクラブのスクール、教室 ⑤出産・育児後の女性向け教室（新規）⇒親子のリズム&体操教室 ⑥健康づくり、生きがいづくりのための高齢者向け教室⇒各スポーツクラブの健康教室、高齢者生きがい教室（ヨガ太極拳）【2-(2)-①で再掲】 ⑦障がいの程度や適性に応じてスポーツを楽しめる教室（新規）【2-(2)-④、2-(2)-⑥で再掲】			
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市体育協会	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティスポーツクラブ
	24年度	体育協会加盟団体による活動推進	・指導者のいるクラブスクール11種目、互いに教え合うクラブサークル17種目、専門講師によるクラブ教室11種目、専門講師によるこども向け教室3種目の他、中学生対象に単発の卓球教室、剣道教室、野球教室ホッケー教室、体育授業でのダンス教室を開催。	②…スクール5教室、サークル4教室 ④…サークル6教室 ⑥…健康教室5教室	健康教室（10教室）スクール（バレーボール、少林寺拳法、野球、バスケットボール、サッカー、インディアカ）サークル（剣道、バスケット、柔道、サッカー、バレー、テニス、なぎなた、ウオーキング 活動人員544人（健康教室149人、スクールサークル395人）
	25年度	体育協会加盟団体による活動推進	・指導者のいるクラブスクール11種目、互いに教え合うクラブサークル18種目、専門講師によるクラブ教室13種目、専門講師によるこども向け教室3種目の開催。	②…スクール4教室、サークル4教室 ④…サークル6教室 ⑥…健康教室5教室	健康教室（10教室）スクール（バレーボール、少林寺拳法、野球、バスケットボール、サッカー、インディアカ）サークル（剣道、バスケット、柔道、サッカー、バレー、テニス、なぎなた、ウオーキング 活動人員674人（健康教室214人、スクールサークル460人）
	26年度	体育協会加盟団体による活動推進	・指導者のいるクラブスクール11種目、互いに教え合うクラブサークル18種目、専門講師によるクラブ教室12種目、専門講師によるこども向け教室3種目の開催。 ・リスタートフレッシュアップ事業で健康教室を各地区公民館にて開催し、定期的な運動習慣を定着させるきっかけ作りを行った。	②…スクール4教室、サークル3教室 ④…サークル5教室 ⑥…健康教室5教室	健康教室（10教室）スクール（バレーボール、少林寺拳法、野球、バスケットボール、サッカー、インディアカ）サークル（剣道、バスケット、柔道、サッカー、バレー、テニス、なぎなた、ウオーキング 活動人員571人（健康教室164人、スクールサークル407人）
	27年度	体育協会加盟団体による活動推進	・指導者のいるクラブスクール11種目、互いに教え合うクラブサークル19種目、専門講師によるクラブ教室12種目、専門講師によるこども向け教室3種目の開催の他、小中学生対象	②…スクール4教室、サークル4教室 ④…サークル4教室 ⑥…健康教室5教室	健康教室（10教室）スクール（バレーボール、少林寺拳法、野球、バスケットボール、サッカー、インディアカ）サークル（剣道、バスケット、柔道、サッカー、バレー、テニス、なぎ

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

			に単発でソフトテニス教室を開催。 ・リスタートフレッシュアップ事業で健康教室を各地区公民館にて開催し、定期的な運動習慣の定着に貢献した。		なた、ウォーキング 活動人員 578 人（健康教室 139 人、スクールサークル 439 人）
	28 年度	体育協会加盟団体による活動推進	・指導者のいるクラブスクール 11 種目、互いに教え合うクラブサークル 19 種目、専門講師によるクラブ教室 12 種目、専門講師によるこども向け教室 3 種目の開催。 ・リスタートフレッシュアップ事業で健康教室を各地区公民館にて開催し、定期的な運動習慣の定着に貢献している。	②…スクール 4 教室、サークル 5 教室 ④…サークル 4 教室 ⑥…健康教室 5 教室	28 年は未登録者があり、現在手続き進行中だが、数字的には 27 年度と大差なし。
これまでの進捗状況のまとめ		加盟団体であるスポーツ少年団、総合型スポーツクラブ、スポーツ推進委員により、健康・スポーツ教室が積極的に実施されている。	地域住民の健康維持のため、継続して取り組める健康教室を安価で提供している。	年度ごとの通常総会資料に記載のとおり	総人数では 4 年間のうち、25 年度がピークで 26、27 年は変わらず 健康教室は減少傾向
今後の課題		体育協会と総合型スポーツクラブは、活動するスポーツ施設が競合しており、互いの連携を必要としている。	年間を通して継続していただけるよう、魅力的な教室内容であることが不可欠。特に冬場は足が遠のく。	ライフサイクルによって異なる多様なニーズの把握に努め、利用者にとって魅力のある健康教室・スポーツ教室を模索し開催できるように努める。参加者の満足度と参加率の向上に繋がるような教室を開催する必要がある。	家族で楽しめるスポーツ教室の拡大強化、高齢者対象の教室の強化が必要。それには、適当な会場と、指導者確保が前提になる。特に、子供、高齢者対象の場合は、空調設備のある会場が望ましい。また、神明スポーツセンターの健康教室では、講師から鏡の設置を要望されている。
新たな具体的展開			公民館との連携など、出前講座がしやすい仕組み作りを求める。	今後の課題と同じ	当面は会場スペースの限りもあり、飛躍的な展開は期待できないが、現状の中で、地域の人々の需要を探り、新たな展開を考えたい。また、講座の内容についても質の向上を目指したい。
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認	推進委員会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる				
基本方針	(1)	身近なスポーツ機会・情報の提供				
基本方針詳細	(1) - 2	スポーツ情報の提供				
		市民が身近なスポーツに興味・関心を持ち、今後のスポーツ活動に結びつくように、鯖江市と(一社)鯖江市体育協会、各種スポーツ団体が連携して、多様なメディアを活用した分かりやすい情報提供を行います。				
具体的施策	④	スポーツ大会・イベント・教室に関する情報の発信				
具体的内容		広報誌やインターネットなどの多様なメディアを通じて、鯖江市や(一社)鯖江市体育協会、各種スポーツ団体などが開催するスポーツ大会・イベントに関する情報を効果的に提供し、市民への周知、参加率の向上に取り組みます。				
具体的展開		①広報さばえ、(一社)鯖江市体育協会の広報誌を通じた広報活動の充実 ②鯖江市、総合型地域スポーツクラブのホームページを通じた広報活動の充実 ③民間情報メディアの有効活用による広報活動の充実(テレビ、新聞、タウン誌 など)				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティスポーツクラブ
	24年度	①②つつじマラソン(参加者募集・交通規制)、スポーツ教室、市民なわとび大会等の定例掲載に加え、各種イベントについてスポット掲載を行った。 ③つつじマラソン(参加者募集、参加者名簿、競技記録)、市民なわとび大会(参加者募集)について新聞掲載を行った。	・広報さばえを通じた広報活動 ・(一社)鯖江市体育協会の広報誌2回発行 ・ホームページ ・パンフレットによる情報提供	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①広報さばえにて不定期だが情報発信。 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	クラブ員募集のパンフレットは年1回発行(3スポ合同)、イベント時は鯖江市報掲載している
	25年度	①②つつじマラソン(参加者募集・交通規制)、スポーツ教室、市民なわとび大会等の定例掲載に加え、各種イベントについてスポット掲載を行った。 ③つつじマラソン(参加者募集、参加者名簿、競技記録)、市民なわとび大会(参加者募集)について新聞掲載を行った。	・広報さばえを通じた広報活動 ・(一社)鯖江市体育協会の広報誌2回発行 ・ホームページ ・パンフレットによる情報提供	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①広報さばえにて不定期だが情報発信。 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	クラブ員募集のパンフレットは年1回発行(3スポ合同)、イベント時は鯖江市報掲載している
	26年度	①②つつじマラソン(参加者募集・交通規制)、スポーツ教室、市民なわとび大会等の定例掲載に加え、各種イベントについてスポット掲載を行った。 ③つつじマラソン(参加者募集、参加者名簿、競技記録)、市民なわとび大会(参加者募集)について新聞掲載を行った。	・広報さばえを通じた広報活動 ・(一社)鯖江市体育協会の広報誌2回発行 ・ホームページ ・パンフレットによる情報提供	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①広報さばえにて不定期だが情報発信。 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	クラブ員募集のパンフレットは年1回発行(3スポ合同)、イベント時は鯖江市報掲載している
	27年度	①②つつじマラソン(参加者募集・交通規制)、スポーツ教室、市民なわとび大会等の定例掲載に加え、各種イベントについてスポット掲載を行った。 ③つつじマラソン(参加者募集、参加	・広報さばえを通じた広報活動 ・(一社)鯖江市体育協会の広報誌2回発行 ・ホームページ ・パンフレットによる情報提供	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①広報さばえにて不定期だが情報発信。 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	クラブ員募集のパンフレットは年1回発行(3スポ合同)、イベント時は鯖江市報掲載している

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標 1

		者名簿、競技記録)、市民なわとび大会(参加者募集)について新聞掲載を行った。				
28年度		①②つつじマラソン(参加者募集・交通規制)、スポーツ教室等の定例掲載に加え、福井しあわせ元気国体・元気大会に向け、実行委員会専用のホームページ・フェイスブックによる情報提供を行っている。 ③つつじマラソン(参加者募集、参加者名簿、競技記録)、福井しあわせ元気国体体操競技プレ大会(開催概要)について新聞掲載を行っている。	・広報さばえを通じた広報活動 ・(一社)鯖江市体育協会の広報誌2回発行 ・ホームページ ・パンフレットによる情報提供	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①広報さばえにて不定期だが情報発信。 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	クラブ員募集のパンフレットは年1回発行(3スポ合同)、イベント時は鯖江市報掲載している
これまでの進捗状況のまとめ		スポーツ大会・イベントに関する情報を適宜、適切な時期に提供できるよう心掛けている。また、平成30年福井しあわせ元気国体・元気大会の開催に向け、フェイスブック利用による情報収集・発信にも努めている。	・広報さばえ、体育協会の広報誌、ホームページ、パンフレット等で、イベント等の情報提供している。	年1回のパンフレットを連絡協議会から発行、25年度より鯖江市広報3月号に挟み込みしている。鯖江市全帯に総合型クラブが浸透しつつある。	年度初には総合型スポーツクラブ会員募集チラシを全戸配布し、広報さばえにて情報を発信する。	クラブ員募集のパンフレットは年1回発行(3スポ合同)、イベント時は鯖江市報掲載しているが、タイミング的に合わない時がある。公民館、学校等に広報するが、限定的。企画内容は良くても、広報が薄く、参加者が少ないケースもあった。ホームページでも広報しているが、効果の有無は不明な点が多い。
今後の課題		広報紙、新聞等活字による従来型メディアについては、これまで同様タイムリーな情報提供に努めるとともに、特に若い世代を中心に広く浸透しているSNSを利用した情報収集・発信の多角化・リアルタイム化を強めていく必要がある。	オープンデータ等、広くイベント情報の発信が必要。	3クラブ共に、地域住民のニーズに応えられるキャパシティを持つことが必要である。活動の場、クラブ職員、既存団体との連携等。	広報誌やインターネットなどの多様なメディアを通じて、情報を効果的に提供し、市民への周知、参加率の向上に取り組む必要がある。	広く周知するには、鯖江市報が効果的。しかし、スペースは限定されるので、内容を衆知するには、ポスター、チラシ等での広報が欠かせない。ホームページも活用しているが、ホームページをもっと効果的に使うことを検討したい。
新たな具体的展開		今後の課題と同じ		テレビ・新聞のメディアにスポーツ課から発信アピールして欲しい。	今後の課題と同じ	ホームページでの効果的な広報を考える。鯖江市報もタイミング、掲載方法を工夫する。
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認			推進委員会の提言

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる	
基本方針	(1)	身近なスポーツ機会・情報の提供	
基本方針詳細	(1)-2	スポーツ情報の提供	
		市民が身近なスポーツに興味・関心を持ち、今後のスポーツ活動に結びつくように、鯖江市と（一社）鯖江市体育協会、各種スポーツ団体が連携して、多様なメディアを活用した分かりやすい情報提供を行います。	
具体的施策	⑤	スポーツ施設に関する情報の充実	
具体的内容		鯖江市と、鯖江市内の主なスポーツ施設の指定管理者である（一社）鯖江市体育協会が連携し、鯖江市ホームページにおけるスポーツ施設の利用方法や料金などに関する情報や施設予約サービスの充実など、スポーツ施設に関する情報の充実を図ります。	
具体的展開		①鯖江市ホームページにおけるスポーツ施設紹介ページの充実 ②施設予約サービス「ふく e-ねっと」の充実⇒現在、三六武道館・弓道場対象外【2-(1)-②、2-(1)-③、2-(1)-⑤で再掲】 ③市内スポーツ施設の案内パンフレットによる情報提供【2-(1)-①で再掲】	
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会
	24年度	①②市のHPに、スポーツ施設の施設情報として、所在地、施設概要、地図、利用料金等を掲載している。また、施設予約サービス「ふく e-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	鯖江市ホームページによる施設情報発信 体育協会ホームページによる施設情報発信 パンフレットによる施設情報提供 施設予約サービス「ふく e-ねっと」
	25年度	①②市のHPに、スポーツ施設の施設情報として、所在地、施設概要、地図、利用料金等を掲載している。また、施設予約サービス「ふく e-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	鯖江市ホームページによる施設情報発信 体育協会ホームページによる施設情報発信 パンフレットによる施設情報提供 施設予約サービス「ふく e-ねっと」
	26年度	①②市のHPに、スポーツ施設の施設情報として、所在地、施設概要、地図、利用料金等を掲載している。また、施設予約サービス「ふく e-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	鯖江市ホームページによる施設情報発信 体育協会ホームページによる施設情報発信 パンフレットによる施設情報提供 施設予約サービス「ふく e-ねっと」
	27年度	①②市のHPに、スポーツ施設の施設情報として、所在地、施設概要、地図、利用料金等を掲載している。また、施設予約サービス「ふく e-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	鯖江市ホームページによる施設情報発信 体育協会ホームページによる施設情報発信 パンフレットによる施設情報提供 施設予約サービス「ふく e-ねっと」
	28年度	①②市のHPに、スポーツ施設の施設情報として、所在地、施設概要、地図、利用料金等を掲載している。また、施設予約サービス「ふく e-ねっと」へのリンクを貼り、利用希望者の便宜に供している。	鯖江市ホームページによる施設情報発信 体育協会ホームページによる施設情報発信 パンフレットによる施設情報提供 施設予約サービス「ふく e-ねっと」
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり。	平成24年に体育協会のホームページを立ち上げ施設の情報発信に努めてきた。
今後の課題		①施設情報が平成24年度から更新されていないものが多いため、掲載内容を精査する必要がある。 ②「ふく e-ねっと」に掲載されている情報がスポーツ課へ提出された申請に追いついていないことがある。	スポーツ施設の情報を広く発信し、利用拡大を図っていく必要がある。
新たな具体的展開		①施設紹介ページの内容の更なる充実（内部の写真など） ②三六武道館の予約状況を随時更新し、利用希望者が確認する際最新情報を提供できるようにする。また、弓道場についても「ふく e-ねっと」で予約状況を確認できるようにする。	体育協会では、指定管理を受けている市内12のスポーツ施設の新たなパンフレットを作成中

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価		今後の 方向性の 確認		推進委員 会の提言	
---------------	-------------	--	-------------------	--	--------------	--

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる				
基本方針	(1)	身近なスポーツ機会・情報の提供				
基本方針詳細	(1) - 2	スポーツ情報の提供				
		市民が身近なスポーツに興味・関心を持ち、今後のスポーツ活動に結びつくように、鯖江市と（一社）鯖江市体育協会、各種スポーツ団体が連携して、多様なメディアを活用した分かりやすい情報提供を行います。				
具体的施策	⑥	スポーツに関する意識の啓発、市民意識の把握				
具体的内容	市民がスポーツに関心を持ち、よりスポーツライフを楽しめるように、スポーツの意義や効果のPR、総合型地域スポーツクラブなどの各種スポーツ団体の活動内容の紹介、地元選手や団体の活躍の紹介など、スポーツに関する様々な情報の提供に取り組みます。また、スポーツに関する市民意識の把握に努めます。					
具体的展開	①鯖江市、総合型地域スポーツクラブのホームページなどを通じたスポーツに関する情報提供、スポーツの意義や効果のPR ②生涯スポーツを通じた健康づくりに関する意識の啓発 ③市民アンケートなどによるスポーツに関する市民意識の把握⇒指定管理者の施設の意見箱					
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティスポーツクラブ
	24年度	①②生涯スポーツ情報の一つとして、総合型地域スポーツクラブや開放学校への呼び込みサイトを設けている。	体育協会ホームページによる情報発信 チラシ、ポスターによる情報提供 総合体育館、スポーツ交流館に意見箱の設置	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	ホームページで、活動実績と、計画を知らせる
	25年度	①②生涯スポーツ情報の一つとして、総合型地域スポーツクラブや開放学校への呼び込みサイトを設けている。	体育協会ホームページによる情報発信 チラシ、ポスターによる情報提供 総合体育館、スポーツ交流館に意見箱の設置	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	ホームページで、活動実績と、計画を知らせる
	26年度	①②生涯スポーツ情報の一つとして、総合型地域スポーツクラブや開放学校への呼び込みサイトを設けている。	体育協会ホームページによる情報発信 チラシ、ポスターによる情報提供 総合体育館、スポーツ交流館に意見箱の設置	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	ホームページで、活動実績と、計画を知らせる
	27年度	①②生涯スポーツ情報の一つとして、総合型地域スポーツクラブや開放学校への呼び込みサイトを設けている。	体育協会ホームページによる情報発信 チラシ、ポスターによる情報提供 総合体育館、スポーツ交流館に意見箱の設置	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	ホームページで、活動実績と、計画を知らせる
	28年度	①②生涯スポーツ情報の一つとして、総合型地域スポーツクラブや開放学校への呼び込みサイトを設けている。	体育協会ホームページによる情報発信 チラシ、ポスターによる情報提供 総合体育館、スポーツ交流館に意見箱の設置	年2回のさばスポ通信を会員に発行。HPを常設。年1回のパンフレット発行。	①総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	ホームページで、活動実績と、計画を知らせる
これまでの進捗状況のまとめ	年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり。	体育協会ホームページを立ち上げ情報発信に努めてきた。またイベント開催時には、チラシ、ポスター等にて周	年1回のパンフレットを連絡協議会から発行、25年度より鯖江市広報3月号に挟み込みしている。鯖江市全世	年度初には総合型スポーツクラブ会	員募集チラシを全戸配布し、広報さばえにて情報を発信する。	スポーツの意識の啓発については、健康教室等では、参加者には浸透していると思うが、一般者に対しては不足し

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

			知に努めてきた。		帯に生涯スポーツのきっかけ作り、意識付けを発信。		ている。スロートレーニング等、高齢者向きの講座の参加者が増えているのは、意識向上の表れでないか。
今後の課題	今後、鯖江市スポーツ振興計画（H24～33）を改定するに当たっては、各施策の進捗状況や成果を図るとともに、新施策体系を構築するうえでの市民ニーズを把握するため、意識調査を実施する必要がある。		ホームページ等の内容を充実させるとともに、他部局と連携した取り組みが必要である。		3クラブ共に、地域住民のニーズに応えられるキャパシティを持つことが必要である。活動の場、クラブ職員、既存団体との連携等。		市民が身近なスポーツに興味・関心を持ち、今後のスポーツ活動に結びつくように、鯖江市・（一社）鯖江市体育協会、各種スポーツ団体と連携して、多様なメディアを活用した分かりやすい情報提供をする必要がある。
新たな具体的展開	スポーツ振興計画推進委員会を継続的に開催し、その審議状況を公開することで、スポーツ振興の現状や課題を把握してもらうとともに、スポーツ振興の意義を理解してもらう				総合型クラブのPR紙を作成し、鯖江市より発信して欲しい。		今後の課題と同じ
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言		

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる	
基本方針	(2)	青少年スポーツの振興	
基本方針詳細	(2)-1	子どもの体力向上・健康づくり	
		子どもの体力低下の問題や、外遊びやスポーツの重要性について市民の理解を促し、家庭、学校、地域において、子どもの体力向上・健康づくりに向けた取り組みを推進します。	
具体的施策	①	子どもの体力の維持・向上	
具体的内容		平成22年度の小学生の新体力テスト(小学4年生以上が参加、8種目)の結果では、ソフトボール投げと握力の一部の学年を除くほとんどの種目で全国平均を上回っており、全国的にも高い水準にある福井県平均と比べても、7割以上の種目・学年で上回っています。 今後とも、家庭、学校、地域が連携して子どもが積極的に外遊びやスポーツに親しむ習慣や意欲を培うとともに、科学的見地に基づいた新たな体力向上のためのプログラムづくりなどにより、子どもの体力向上を図ります。	
具体的展開		①子どもの発達段階に応じた合理的・効率的な体力向上プログラムづくり	
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市学校教育課	さばえスポーツクラブ
	24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の時間の一部や業前・業間等の教科外の時間において、継続してサーキットトレーニングや持久走、なわとび運動を行う。(ザ・チャレンジ、パワーアップ等) ・県平均(体力テスト)を下回っていた握力・投力の向上のため、グーパー体操、ピッチング体操等を体育の準備運動や朝の会・帰りの会等に取り組む。 ・「鯖江市児童生徒の健康・体位・体力」の結果を分析し、各学校の課題を洗い出し、体力向上策を実践する。 	子供の体力向上を視野に入れ、まずはスポーツを始めるきっかけ作りとしての陸上教室&スポーツフェスタを開催した。
	25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の時間の一部や業前・業間等の教科外の時間において、継続してサーキットトレーニングや持久走、なわとび運動を行う。(ザ・チャレンジ、パワーアップ等) ・県平均(体力テスト)を下回っていた握力・投力の向上のため、グーパー体操、ピッチング体操等を体育の準備運動や朝の会・帰りの会等に取り組む。 ・「鯖江市児童生徒の健康・体位・体力」の結果を分析し、各学校の課題を洗い出し、体力向上策を実践する。 	文科省委託事業の一環で、鯖江市内の小学校へ専門講師を派遣する「体育支援事業」を実施した。特に低学年が体育を好きになるような魅力あふれる授業を、体づくり・器械器具を使った運動・ゲーム・表現リズム遊びの各領域で展開した。
	26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の時間の一部や業前・業間等の教科外の時間において、継続してサーキットトレーニングや持久走、なわとび運動を行う。(ザ・チャレンジ、パワーアップ等) ・県平均(体力テスト)を下回っていた握力・投力の向上のため、グーパー体操、ピッチング体操等を体育の準備運動や朝の会・帰りの会等に取り組む。 ・「鯖江市児童生徒の健康・体位・体力」の結果を分析し、各学校の課題を洗い出し、体力向上策を実践する。 ・体育や保健の授業におけるユニバーサルデザイン(子どもにあったルールづくりや障害のある児童のための教具等の工夫。視覚化・焦点化・共有化の研究) 	文科省委託事業の一環で、鯖江市内の小学校へ専門講師を派遣する「体育支援事業」を実施した。特に低学年が体育を好きになるような魅力あふれる授業を、体づくり・器械器具を使った運動・ゲーム・表現リズム遊びの各領域で展開した。
	27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の時間の一部や業前・業間等の教科外の時間において、継続してサーキットトレーニングや持久走、なわとび運動を行う。(ザ・チャレンジ、パワーアップ等) ・県平均(体力テスト)を下回っていた握力・投力の向上のため、グーパー体操、ピッチング体操等を体育の準備運動や朝の会・帰りの会等に取り組む。 ・「鯖江市児童生徒の健康・体位・体力」の結果を分析し、各学校の課題を洗い出し、体力向上策を実践する。 ・体育や保健の授業におけるユニバーサルデザイン(子どもにあったルールづくりや障害のある児童のための教具等の工夫。視覚化・焦点化・共有化の研究) 	文科省委託事業の一環で、鯖江市内の小学校へ専門講師を派遣する「体育支援事業」を実施した。特に低学年が体育を好きになるような魅力あふれる授業を、体づくり・器械器具を使った運動・ゲーム・表現リズム遊びの各領域で展開した。
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教科体育の時間の一部や業前・業間等の教科外の時間において、継続してサーキットトレーニングや持久走、なわとび運動を行う。(ザ・チャレンジ、パワーアップ等) 	文科省委託事業終了後も、学校教育課予算にて体育支援事業を引き続き展開した。低学年のみならず、中高学年にも魅力あふれる専門講師による授業を提供している。	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

		<ul style="list-style-type: none"> ・県平均（体力テスト）を下回っていた握力・投力の向上のため、グーパー体操、ピッチング体操等を体育の準備運動や朝の会・帰りの会等に取り組む。 ・「鯖江市児童生徒の健康・体位・体力」の結果を分析し、各学校の課題を洗い出し、体力向上策を実践する。 ・体育や保健の授業におけるユニバーサルデザイン（子どもにあったルールづくりや障害のある児童のための教具等の工夫。視覚化・焦点化・共有化の研究） ・アクティブラーニングの導入（深い学び・対話的な学び・主体的な学び） 				
これまでの進捗状況のまとめ		<ul style="list-style-type: none"> ・業者に集計を依頼していた体力テストの結果を、県平均・市平均と比較。体育主任を中心に分析結果と各学校の課題について把握し、体力向上策を実践してきたが、なかなか向上しないのが現状である。 				<p>スポーツを始めるきっかけ作りの取り組みはクラブ理念として当然のごとく実施しているが、文科省委託事業を受けてからの3年間は県でもなしえない数の体育授業派遣を実施してきた。子供の体力向上への貢献度は高いと思う。</p>
今後の課題		<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果から、「鍛える教育（場面）」の必要性や体力づくりの時間の確保と内容の工夫等、体育主任を中心とした各学校の工夫された取り組みが必要。 				<p>魅力ある体育支援は、専門講師とクラブの良い関係があっこそ出来ることである。どちらのテンションも下げずに、維持していくことはなかなかのこと。</p>
新たな具体的展開		<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの調査結果から、体育・保健体育の授業の「授業は楽しい」と回答した児童生徒は、運動やスポーツに対する「好き」「大切」「卒業後も自主的に運動したい」といった肯定的な意識が高いことがわかった。よって、今後は、市体育研究部会において体育や保健体育の授業におけるユニバーサルデザイン、アクティブラーニングの研究をさらに推進していく。 				<p>専門講師の努力をメディアに取り上げて欲しい。</p>
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる	
基本方針	(2)	青少年スポーツの振興	
基本方針詳細	(2)-1	子どもの体力向上・健康づくり	
		子どもの体力低下の問題や、外遊びやスポーツの重要性について市民の理解を促し、家庭、学校、地域において、子どもの体力向上・健康づくりに向けた取り組みを推進します。	
具体的施策	②	小中学校でのスポーツ活動の工夫・改善	
具体的内容		より一層小中学生の体力向上を図るため、体育の授業だけでなく、クラブ活動や学校部活動も含めて、学校教育における体育指導の充実を図ります。 体育の授業については、子どもの発達段階などに応じて指導し、スポーツの楽しさを感じさせることができるように、教員の指導力の向上を図ります。 学校部活動については、活動の充実を図るとともに、活動のあり方や活動時間の見直しなどにより、子どもたちの主体性を尊重した活動に努めます。	
具体的展開		①体育の授業、特別活動、部活動などを指導する教員を対象とする研修などの開催（スポーツ指導技術に関する研修、スポーツ医・科学に関する研修 など） ②学校と総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団など各種スポーツ団体との連携（学校と地域で活動できる指導者の養成・確保など）（新規）⇒現状は、総合型に学校の体育の先生も理事に入っているが指導はしていない。もっと学校と地域との連携をとる必要、指導者を確保する必要（鯖北・東陽は小学生会員、さばスポは中学生会員多い。）【1-(2)-⑥、1-(3)-①で再掲】 ③体育専科教員の活用（新規）⇒専門的な知識を活用して、備品・教材など体育の授業のできる環境を整備する。 ④学校体育大会の開催（鯖江市連合体育大会、福井県中体連、鯖丹地区中体連など）【3-(3)-①で再掲】 ⑤学校間の連携による部活動の充実（合同練習、定期的な交流大会 など） ⑥部活動における年間の練習内容・方法の見直し検討 ⑦新学習指導要領に基づく、中学校における武道・ダンスの必修化に向けた用具・指導者の充実（新規）⇒H24より中学校で必修化	
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市学校教育課	さばえスポーツクラブ
	24年度	①・ダンス指導法講習会。小・中学校教員対象。プロの指導者から表現リズム遊び、ダンスの指導法を学ぶ。 ・器械運動強化練習会。小学校教員対象。器械運動（体操競技）の指導法について研修を深め、指導者の資質の向上を図る。 ・運動部活動指導者研修会。運動部活動指導者対象。学校関係者との連携の仕方や指導のあり方などの研修を行うことにより、運動部活動指導者の資質の向上を図る。 ・体育実技指導者派遣事業（水泳）小学校の体育科の授業等において、担当教員と共に児童に対し実技の指導や助言を行い、学校における体育指導の充実を図る。（河和田小） ・小学校低学年支援事業（鳥羽小） ・県小学校教育課程研究会発表（河和田小） ・県学校体育研究協議会発表（鯖江中）	中学校部活動、ホッケー・卓球・剣道・野球部それぞれにトップアスリートを派遣し、生徒たちがトップ技術を学んだ。中学校体育授業にダンスインストラクターを派遣し、ダンス必修化に伴う指導困難に向け、貢献した。
25年度	①・ダンス指導法講習会。小・中学校教員対象。プロの指導者から表現リズム遊び、ダンスの指導法を学ぶ。 ・器械運動強化練習会。小学校教員対象。器械運動（体操競技）の指導法について研修を深め、指導者の資質の向上を図る。 ・運動部活動指導者研修会。運動部活動指導者対象。学校関係者との連携の仕方や指導のあり方などの研修を行うことにより、運動部活動指導者の資質の向上を図る。 ・体育実技指導者派遣事業（水泳）小学校の体育科の授業等において、担当教員と共に児童に対し実技の指導や助言を行い、学校における体育指導の充実を図る。（進徳小） ・スポーツ大好きふくいっ子指導者派遣（鳥羽小、豊小） ・県学校体育研究協議会発表（惜陰小） ②・体育支援事業。さばえスポーツクラブより派遣された外部指導者と授業担当教員が連携し、体育の授業を実施。（小学校低学年[中・高学年も対象可能]⇒4領域、中学校1年生⇒ダンス） ・地域スポーツ人材活用実践支援事業	文科省事業を受託し、トップアスリート（国体出場以上の成績を持つ）を中学校部活動、ホッケー・剣道・野球・なぎなた・硬式テニスそれぞれに派遣した。部活動においてトップアスリートが定期的に指導し、子供たちのやる気や夢、目標などが向上した。また、ダンス必修化に伴う指導困難に向け、ダンスインストラクターを派遣した。	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

	<p>鯖江中：ホッケー、男バスケ、男女卓球、野球、柔道、体操 中央中：男バスケ、男女柔道、女ソフトテニス 東陽中：新体操、柔道</p> <p>⑦・武道・ダンスの指導の改善（福井県版「柔道指導の手引き」「ダンス実践記録集」（DVD）の活用</p>	
<p>26年度</p>	<p>①・ダンス指導法講習会。小・中学校教員対象。プロの指導者から表現リズム遊び、ダンスの指導法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器械運動強化練習会。小学校教員対象。器械運動（体操競技）の指導法について研修を深め、指導者の資質の向上を図る。 ・運動部活動指導者研修会。運動部活動指導者対象。学校関係者との連携の仕方や指導のあり方などの研修を行うことにより、運動部活動指導者の資質の向上を図る。 ・体育実技指導者派遣事業（水泳）小学校の体育科の授業等において、担当教員と共に児童に対し実技の指導や助言を行い、学校における体育指導の充実を図る。（惜陰小、中河小） ・スポーツ大好きふくいっ子指導者派遣（惜陰小、進徳小、鯖江東小） ・国体種目を取り入れた学習の実施[中3対象]（鯖江中・中央中） <p>②・体育支援事業。さばえスポーツクラブより派遣された外部指導者と授業担当教員が連携し、体育の授業を実施。（小学校低学年[中・高学年も対象可能]⇒4領域、中学校1年生⇒ダンス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ人材活用実践支援事業 <p>鯖江中：男女卓球、体操、柔道、男バスケ 中央中：男バスケ、女バドミントン、女ソフトテニス、女体操、男女柔道、男バレー、 東陽中：新体操、男女柔道、男女剣道、男女卓球</p> <p>⑦・武道・ダンスの指導の改善（福井県版「柔道指導の手引き」「ダンス実践記録集」（DVD）の活用</p>	<p>文科省事業を受託し、トップアスリート（国体出場以上の成績を持つ）を中学校部活動、ホッケー・剣道・野球・なぎなた・硬式テニスそれぞれに派遣した。部活動においてトップアスリートが定期的に指導し、子供たちのやる気や夢、目標などが向上した。また、ダンス必修化に伴う指導困難に向け、ダンスインストラクターを派遣した。</p>
<p>27年度</p>	<p>①・器械運動強化練習会。小学校教員対象。器械運動（体操競技）の指導法について研修を深め、指導者の資質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動指導者研修会。運動部活動指導者対象。学校関係者との連携の仕方や指導のあり方などの研修を行うことにより、運動部活動指導者の資質の向上を図る。 ・スポーツ大好きふくいっ子指導者派遣（片上小、神明小、中河小） ・国体種目を取り入れた学習の実施[中3対象]（鯖江中・中央中） <p>②・体育支援事業。さばえスポーツクラブより派遣された外部指導者と授業担当教員が連携し、体育の授業を実施。（小学校低学年[中・高学年も対象可能]⇒4領域、中学校1年生⇒ダンス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ人材活用実践支援事業 <p>鯖江中：男バスケ、男卓球、体操、柔道 中央中：男バスケ、女バドミントン、男女柔道、合唱部、女ソフトテニス 東陽中：男新体操、男女柔道、男女剣道、女卓球</p> <p>⑦・武道・ダンスの指導の改善（福井県版「柔道指導の手引き」「ダンス実践記録集」（DVD）の活用</p>	<p>文科省事業を受託し、トップアスリート（国体出場以上の成績を持つ）を中学校部活動、ホッケー・剣道・野球・なぎなた・硬式テニスそれぞれに派遣した。部活動においてトップアスリートが定期的に指導し、子供たちのやる気や夢、目標などが向上した。ソフトテニス部へもセミプロ選手による講習会を開催した。また、ダンス必修化に伴う指導困難に向け、ダンスインストラクターを派遣した。</p>
<p>28年度</p>	<p>①・器械運動強化練習会。小学校教員対象。器械運動（体操競技）の指導法について研修を深め、指導者の資質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動指導者研修会。運動部活動指導者対象。学校関係者との連携の仕方や指導のあり方などの研修を行うことにより、運動部活動指導者の資質の向上を図る。 	<p>文科省委託事業終了後も、学校教育課予算にて体育支援事業を引き続き展開した。中学校ダンス授業にダンスインストラクターを派遣する。</p>

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標 1

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育実技指導者派遣事業（水泳）小学校の体育科の授業等において、担当教員と共に児童に対し実技の指導や助言を行い、学校における体育指導の充実を図る。（片上小） ・ スポーツ大好きふくいっ子指導者派遣（立待小、吉川小、北中山小、河和田小） ・ 国体種目を取り入れた学習の実施[中3対象]（鯖江中・中央中） ②・ 体育支援事業。さばえスポーツクラブより派遣された外部指導者と授業担当教員が連携し、体育の授業を実施。（小学校低学年[中・高学年も対象可能]⇒4領域、中学校1年生⇒ダンス） ・ 地域スポーツ人材活用実践支援事業 鯖江中：男女新体操 東陽中：男新体操、女卓球、男女柔道 ⑦・ 武道・ダンスの指導の改善（福井県版「柔道指導の手引き」「ダンス実践記録集」（DVD）の活用 				
<p>これまでの進捗状況のまとめ</p>	<p>学校教育の多様化への対応とその活性化を図るため、教育現場に学校内外から優れた人材を迎え入れ、知識・技術をもつ社会人や外部指導者の活用が勧められた。その結果、教員・部活担当者の指導力は向上し、子ども達の生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎は養われたと考えられる。</p>	<p>文科省事業での、部活動へのトップアスリート派遣事業は、顧問からも好評で、トップ技術を目の当たりにする機会を持てたことは、クラブとしても大変大きな貢献だったと思う。</p>				
<p>今後の課題</p>	<p>平成25～27年度「地域スポーツとトップアスリートの好循環推進プロジェクト」により、総合型クラブ（さばえスポーツクラブ）と教育委員会が連携し、小中学校でのスポーツ活動の工夫・改善が図られたことは大きな成果である。よって、体育支援事業は平成28年度より、鯖江市独自の事業として予算化され、各学校に外部指導者が派遣され授業が展開されるようになった。しかし、各学校の要請時期が同じ時期に重なるため、外部指導者のスケジュール調整が難しい。さらに、国の補助が終了し、市の予算だけでは派遣回数が限られるため、現場の要請に答えられないのが現状である。体育支援の予算化拡大は必須である。その他の県の事業に関しては、今後も積極的に学校教育に位置づけて展開していく。</p>	<p>残念ながら、トップアスリート派遣を自主事業化することは出来なかったが、このようなアスリートが地元で活躍できる場が定着するような仕組み作りを今後も考えていくべきである。</p>				
<p>新たな具体的展開</p>	<p>体育支援事業については、広報活動を積極的に行い、事業の拡大を目指す。 学校と総合型クラブ（さばえスポーツクラブ）との協同関係をさらに深め、さらに質の高い体育支援ができるよう事業計画を練り直す。</p>	<p>行政との連携。スポーツ庁の動向にアンテナを張る。</p>				
<p>中間評価（効果・有効性等）</p>	<p>進捗状況の評価</p>		<p>今後の方向性の確認</p>		<p>推進委員会の提言</p>	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる
基本方針	(2)	青少年スポーツの振興
基本方針詳細	(2)-1	子どもの体力向上・健康づくり
		子どもの体力低下の問題や、外遊びやスポーツの重要性について市民の理解を促し、家庭、学校、地域において、子どもの体力向上・健康づくりに向けた取り組みを推進します。
具体的施策	③	小中学校での食育の充実
具体的内容		「平成22年度鯖江市児童生徒健康・体位・体力」から小中学生の健康状態をみると、肥満は、小中学生とも県平均を下回り、年々減少傾向にあります。痩身は、中学生女子以外では県平均を上回っています。今後とも、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ、体力の向上につながるように、地場農産物を使用した学校給食などを通じて積極的に食育に取り組めます。
具体的展開		①学級活動、保健体育、家庭科を通じた健康で豊かな食生活に関する指導 ②学校での食育に関する取り組みの家庭への情報発信 ③朝食や給食に関するアンケート調査の実施 ④地場農産物を活用した学校給食の提供（地場農産物の使用割合を高くする、地場産学校給食の日の増加 など）
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市学校教育課
	24年度	①5年生 家庭科「みそ汁を作ろう」 調理長とコラボでうま味・だしの実験授業（複数の小学校） 3年生 総合「すがたを変える大豆」にあわせて 豆腐づくり体験授業、3年生 総合「おいしさを探けんしよう」五感と味覚の授業。4年生 総合「みそを仕込もう」 地元大豆で郷土のみそ作り体験→5年家庭科で使用（一部の小学校）、学校田で米づくり体験 ②食チャレを活用した お手伝いの啓発、給食・食育だより・HP、食生活調査による、生活向上取り組みプラン 5年生 炊飯ボランティア（児童）による学校給食ごはんたきたてデー（一部の小学校で実施）、マイおにぎりデー（複数の小学校）。マイお弁当デー（一部の中学校） 鉄強化給食（アイアン給食）カルシウム強化給食（歯っぴー給食）での体作り啓発と給食実施（毎月） ④ミニ地場産デー給食（地元食材での和食） 毎月1回程度、地場産100%給食（鯖江市一斉 小 中 幼）年2回
	25年度	①5年生 家庭科「みそ汁を作ろう」 調理長とコラボでうま味・だしの実験授業（複数の小学校） 3年生 総合「すがたを変える大豆」にあわせて 豆腐づくり体験授業、3年生 総合「おいしさを探けんしよう」五感と味覚の授業、4年生 総合「みそを仕込もう」 地元大豆で郷土のみそ作り体験→5年家庭科で使用（一部の小学校）、学校田で米づくり体験 ②食チャレを活用した お手伝いの啓発、給食・食育だより・HP、食生活調査による、生活向上取り組みプラン 5年生 炊飯ボランティア（児童）による学校給食ごはんたきたてデー（一部の小学校で実施） マイおにぎりデー（複数の小学校）、マイお弁当デー（一部の中学校）、鉄強化給食（アイアン給食）カルシウム強化給食（歯っぴー給食）での体作り啓発と給食実施（毎月） ④ミニ地場産デー給食（地元食材での和食） 毎月1回程度、地場産100%給食（鯖江市一斉 小 中 幼）年2回
	26年度	①5年生 家庭科「みそ汁を作ろう」 調理長とコラボでうま味・だしの実験授業（複数の小学校） 3年生 総合「すがたを変える大豆」にあわせて 豆腐づくり体験授業、3年生 総合「おいしさを探けんしよう」五感と味覚の授業、4年生 総合「みそを仕込もう」 地元大豆で郷土のみそ作り体験→5年家庭科で使用（一部の小学校）、学校田で米づくり体験 ②食チャレを活用した お手伝いの啓発、給食・食育だより・HP、食生活調査による、生活向上取り組みプラン 5年生 炊飯ボランティア（児童）による学校給食ごはんたきたてデー（一部の小学校で実施） マイおにぎりデー（複数の小学校）、マイお弁当デー（一部中学校）、鉄強化給食（アイアン給食）カルシウム強化給食（歯っぴー給食）での体作り啓発と給食実施（毎月） ④ミニ地場産デー給食（地元食材での和食） 毎月1回程度、地場産100%給食（鯖江市一斉 小 中 幼）年2回
	27年度	①5年生 家庭科「みそ汁を作ろう」 調理長とコラボでうま味・だしの実験授業（事業モデル校および複数の小学校）、3年生 総合「すがたを変える大豆」にあわせて 豆腐づくり体験授業 3年生 総合「おいしさを探けんしよう」五感と味覚の授業、4年生 総合「みそを仕込もう」 地元大豆で郷土のみそ作り体験→5年家庭科で使用（一部の小学校）、学校田で米づくり体験 ②食チャレを活用した お手伝いの啓発、給食・食育だより・HP、食生活調査による、生活向上取り組みプラン 5年生 炊飯ボランティア（児童）による学校給食ごはんたきたてデー（一部の小学校で実施） マイおにぎりデー（複数小学校）、マイお弁当デー（一部中学校）、鉄強化給食（アイアン給食）カルシウム強化給食（歯っぴー給食）での体作り啓発と給食実施（毎月） ④ミニ地場産デー給食・鯖江和膳（地元食材での和食） 毎月4回程度、地場産100%給食（鯖江市一斉 小 中 幼）年2回、和食の日（和食推進 県産品使用給食）11月24日
28年度	①5年生 家庭科「みそ汁を作ろう」 調理長とコラボでうま味・だしの実験授業	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

		<p>3年生 総合「すがたを変える大豆」にあわせて 豆腐づくり体験授業、3年生 総合「おいしさを探けんしよう」五感と味覚の授業、4年生 総合「みそを仕込もう」 地元大豆で郷土のみそ作り体験→5年家庭科で使用（一部の小学校）、学校田で米づくり体験、バースデー給食（複数の小学校）</p> <p>②食チャレを活用した お手伝いの啓発、給食・食育だより・HP、食生活調査による、生活向上取り組みプラン</p> <p>5年生 炊飯ボランティア（児童）による学校給食ごはんたきたてデー（一部の小学校で実施）</p> <p>鉄強化給食（アイアン給食）カルシウム強化給食（歯っぴー給食）での体作り啓発と給食実施（毎月）</p> <p>④ミニ地場産デー給食・鯖江和膳（地元食材での和食） 毎月4回程度、地場産100%給食（鯖江市一斉 小 中 幼）年2回</p> <p>和食の日（和食推進 県産品使用給食）11月24日、マイおにぎりデーまたはセルフおにぎりデー（市内小学校）、マイおにぎりデー・マイお弁当デー（市内中学校）</p>				
<p>これまでの進捗状況のまとめ</p>	<p>鯖江市内全ての小中学校において食育推進計画を毎年作成。栄養教諭を中核にした食育の推進により、子どもたちは食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができ、体力の向上にもつながっている。</p> <p>児童、生徒、保護者対象の食育アンケートも毎年実施。毎回必ず朝食に関する設問を設け、結果から実情を捉えながら課題の改善に取り組んでいる。</p>					
<p>今後の課題</p>	<p>全小学校において鯖江市の地場産業である越前漆器の給食用漆器を導入しているが、漆器は扱いが難しく、破損しやすい。修理も追いつかず、残念ながら漆器を完全に導入している学校が減少傾向にある。</p> <p>朝食の摂取率向上に向けて、改善に向けた長期的な取り組みを行っているが、家庭との連携をさらに密にし、朝食欠食者ゼロの目標を達成する。</p>					
<p>新たな具体的展開</p>	<p>小学校「マイおにぎりデー」（子どもが自分で給食用のおにぎりを作って登校する）中学校「マイお弁当デー」（自分で弁当を作って登校する）の実施回数を増やし、食事を自分で作る楽しさを実感させ自立食を目指す。保護者への啓発活動も積極的に行い、家庭での食育に対する意識を高めていく。</p>					
<p>中間評価（効果・有効性等）</p>	<p>進捗状況の評価</p>		<p>今後の方向性の確認</p>		<p>推進委員会の提言</p>	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる			
基本方針	(2)	青少年スポーツの振興			
基本方針詳細	(2)-2	青少年スポーツ環境の充実			
		子どもが自発的に体を動かす機会を増やし、その発達段階に応じて適切な指導を受け、それぞれの能力を十分発揮できるようにするため、学校と地域におけるスポーツ団体などが連携して、学校内外のスポーツ環境の充実を図ります。			
具体的施策	④	子どもたちが体を動かしたくなる場の充実			
具体的内容		小中学校の体育館やその他の公共のスポーツ施設などについては、それぞれの機能維持、利用者の安全・安心確保のための適切な修繕および再整備を行い、子どもたちが体を動かしたくなる場の充実を図ります。			
具体的展開		①体育館など、既存の公共スポーツ施設の計画的な改修【2-(1)-④で再掲】 ②屋外スポーツ施設の機能向上（公園、グラウンド、テニスコートなど）【2-(1)-⑤で再掲】 ③民間などのスポーツ施設の活用⇒ルネッサ鯖江、福井スイミングスクール			
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市学校教育課	市生涯学習課	さばえスポーツクラブ
	24年度	①②小学校施設維持補修（鯖江東：屋体屋根、神明：屋体内装、河和田：小プール塗装）、小学校施設整備（惜陰：屋外器具庫、鳥羽：防球ネット）、中学校施設維持補修（東陽：屋体防水）、中学校施設整備（中央：テニスコート整地）、鯖中：グラウンド改修、立待体育館：増築・床組改修、総合体育館：消防施設改修、西山公園球場：防球ネット	①・市内各小中学校において、教職員が体育館、グラウンド、器具庫等の安全点検を実施（月1回） ・校内の空きスペースを活用し、鉄棒やマット、の設置 ・耐震基準に準じた体育館設備の改修 ・学校に設置されている遊具の安全調査、事故防止対策 ・開放学校の使用時間を子どもの生活リズムに配慮して、柔軟に対応	神明健康スポーツセンター バドミントン支柱修繕 北中山公民館 バレーボール支柱修繕 中山体育館 ワイヤレスアンテナ修繕	施設充実は畑が違うが、幼児期からのスポーツに親しむプログラムはクラブにある。プレゴールデンエイジまでに、遊びを通して動くことの楽しさを身につけてもらう教室を実施している。
	25年度	①②小学校施設維持補修（進徳・鯖江東：屋体暗幕取替、神明：屋体建具改修）、小学校施設整備（惜陰：プール器具室防水、神明：運動場コースロープ整備、河和田：プール塗装）、進徳：グラウンド改修、豊：屋体改築、立待：屋体耐震補強、中学校施設整備（中央：テニスコート整地、東陽：野球場整地）、神明スポセン：外壁改修、総合体育館：屋根防水・外壁改修・アリーナ照明改修、西山公園野球場：スコアボード改築・ダッグアウトベンチ工・フェンス工）、丸山公園多目的広場：フェンス工・バックネット撤去、中山公園テニスコート：コート整備、神中公園テニスコート：フェンス工、市民プール：フェンス工	①・市内各小中学校において、教職員が体育館、グラウンド、器具庫等の安全点検を実施（月1回） ・校内の空きスペースを活用し鉄棒やマット・投力向上のための的の設置 ・耐震基準に準じた体育館設備の改修 ・学校に設置されている遊具の安全調査、事故防止対策 ・開放学校の使用時間を子どもの生活リズムに配慮して、柔軟に対応	片上公民館体育館ドア修繕	施設充実は畑が違うが、幼児期からのスポーツに親しむプログラムはクラブにある。プレゴールデンエイジまでに、遊びを通して動くことの楽しさを身につけてもらう教室を実施している。
	26年度	①②小学校施設維持補修（鯖江東・鳥羽・吉川：プール土間改修、神明：プルフェンス工）、小学校施設整備（進徳：屋体屋根防水、惜陰：屋体外壁改修）、豊：屋体改築、中学校施設整備（中央：グラウンド防球ネット設置）、御幸公園グラウンド：防球ネット設置・トイレ新築	①・市内各小中学校において、教職員が体育館、グラウンド、器具庫等の安全点検を実施（月1回） ・校内の空きスペースを活用し鉄棒やマット・投力向上のための的の設置 ・耐震基準に準じた体育館設備の改修 ・学校に設置されている遊具の安全調査、事故防止対策 ・開放学校の使用時間を子どもの生活リズムに配慮して、柔軟に対応	神明健康スポーツセンター身障者用通路補修	施設充実は畑が違うが、幼児期からのスポーツに親しむプログラムはクラブにある。プレゴールデンエイジまでに、遊びを通して動くことの楽しさを身につけてもらう教室を実施している。

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

	27年度	①②小学校施設整備（市内11校（豊を除く）：屋体耐震化）、中学校施設整備（市内3校：屋体・武道館の落下防止・釣天井撤去等、東陽：野球場等整地・テニスコートフェンス整備）、中央：屋体耐震補強工事、東公園陸上競技場：3種公認更新工事、立待体育館：既設ピット内壁板補修・跳馬用着地マット	①・市内各小中学校において、教職員が体育館、グラウンド、器具庫等の安全点検を実施（月1回） ・校内の空きスペースを活用し鉄棒やマット・投力向上のための的の設置 ・耐震基準に準じた体育館設備の改修 ・学校に設置されている遊具の安全調査、事故防止対策 ・開放学校の使用時間を子どもの生活リズムに配慮して、柔軟に対応	中河公民館体育館 床段差研磨補修 および塗装、床材埋め木補修および塗装 豊公民館体育館 電動バスケットゴール修繕 金具取替修繕（バレーボール・テニス用） 神明健康スポーツセンター 床段差研磨補修および塗装	施設充実は畑が違うが、幼児期からのスポーツに親しむプログラムはクラブにある。プレゴールデンエイジまでに、遊びを通して動くことの楽しさを身につけてもらう教室を実施している。
	28年度	①②小学校施設整備（立待・北中山：屋体屋根改修）、中学校施設整備（中央：武道館剣道場床改修）、中央：グラウンド改修、総合体育館：耐震補強・アリーナ床改修などを予定	①・市内各小中学校において、教職員が体育館、グラウンド、器具庫等の安全点検を実施（月1回） ・校内の空きスペースを活用し鉄棒やマット・投力向上のための的の設置 ・耐震基準に準じた体育館設備の改修 ・学校に設置されている遊具の安全調査、事故防止対策 ・開放学校の使用時間を子どもの生活リズムに配慮して、柔軟に対応		施設充実は畑が違うが、幼児期からのスポーツに親しむプログラムはクラブにある。プレゴールデンエイジまでに、遊びを通して動くことの楽しさを身につけてもらう教室を実施している。
これまでの進捗状況のまとめ	小中学校の体育館や屋外スポーツ施設その他の公共のスポーツ施設などについて、安全・安心と利便性の確保に努めるため、予算および整備計画に基づいて、計画的に維持補修、設備の更新などを行っている。一方、民間スポーツ施設の活用については、特に働きかけ等の取組は行っていない。		開放学校での活動が、子ども達にとって安心・安全であるために、入念な施設設備・遊具・器具等の点検を実施している。安全基準に満たない場合は学校と地域スポーツ団体、市で連携し迅速な対応をしながら、改修を行っている。開放している時間帯は、事故防止・何かあった場合にすぐ対応できるよう保護者に必ず付き添っていただくなど、保護者との連携も密にしている。	公民館併設体育館などについて、それぞれの機能維持、利用者の安全・安心確保のため床段差研磨補修等の適切な修繕および再整備を行っている。	
今後の課題	大変厳しい財政状況が今後も続く中で、施設そのものの改築といった大規模工事による更新は見込めない。各スポーツ施設の利用状況や損耗度などを判断材料に、優先順位をつけながら、引き続き計画的な維持補修、設備の更新を行っていく必要がある。		安全基準に満たない場合は、安心安全を第一に考えて、改修・撤去をしているが、子ども達の運動量の確保ができづらくなり、体力の向上が見込めなくなる可能性がある。また、多様な運動経験の減少、スポーツに対する興味関心を高めることも難しくなるため、子ども達の実態を把握しながらの施設の整備を期待したい。	改修箇所の早めの把握	
新たな具体的展開	今後の課題に同じ				
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認	推進委員会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる				
基本方針	(2)	青少年スポーツの振興				
基本方針詳細	(2) - 2	青少年スポーツ環境の充実				
		子どもが自発的に体を動かす機会を増やし、その発達段階に応じて適切な指導を受け、それぞれの能力を十分発揮できるようにするため、学校と地域におけるスポーツ団体などが連携して、学校内外のスポーツ環境の充実を図ります。				
具体的施策	⑤	スポーツ少年団など地域での青少年スポーツ活動の充実				
具体的内容		より多くの青少年にスポーツ活動と交流の機会を与え、青少年の健全育成に寄与するため、地区体育協会や各種スポーツ団体などを中心として、青少年スポーツ活動の充実を図ります。				
具体的展開		①スポーツ少年団への加入促進 ②スポーツ少年団の活動内容の充実、学校や各競技団体間の連携強化⇒ 少は単一種目であり体力向上にむけた活動も行う。指導者の発掘は種目協会と連携、斡旋してもらうなどする。 ③総合型地域スポーツクラブの小中学生向けプログラムの見直し・充実 ④放課後児童クラブにおける運動やスポーツに親しむ機会の提供（新規）⇒ 出前講座（スポーツクラブやスポーツ推進委員による）				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	市体育協会	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティースポーツクラブ
	24年度	①団数 55 単位団（内訳：男子 679 人、女子 272 人、計 951 人、指導者 208 人）	毎年 10 月の鯖江市民スポーツの日のスポーツ少年団の体力測定、スポーツ体験コーナーの設置	・柔道団、ミニバスケット、サッカー、合気道、なぎなた、バドミントン、ボクシング、ソフトテニス、硬式テニスにおいて総合型クラブ活動の一環として小学生を指導している。	③小中学生向け教室（スクール） 5 教室	出前授業 神明小学校 5 年生（キッズダンス、）吉川小学校 6 年生（キッズダンス、ユニカール、キンボール）
	25年度	①団数 55 単位団（内訳：男子 656 人、女子 253 人、計 909 人、指導者 215 人）	毎年 10 月の鯖江市民スポーツの日のスポーツ少年団の体力測定、スポーツ体験コーナーの設置	・柔道団、ミニバスケット、サッカー、合気道、なぎなた、バドミントン、ボクシング、ソフトテニス、硬式テニスにおいて総合型クラブ活動の一環として小学生を指導している。 ・文科省事業「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」を受託。スポーツ少年団、総合型クラブ、中学校部活動、種目団体へトップアスリートを定期的に派遣。	③小中学生向け教室（スクール） 4 教室	出前授業 吉川小学校 6 年生（キッズダンス、キンボール、カローリング）
	26年度	①団数 55 単位団（内訳：男子 641 人、女子 241 人、計 882 人、指導者 210 人）	毎年 10 月の鯖江市民スポーツの日のスポーツ少年団の体力測定、スポーツ体験コーナーの設置	・柔道団、ミニバスケット、サッカー、合気道、なぎなた、バドミントン、ボクシング、ソフトテニス、硬式テニスにおいて総合型クラブ活動の一環として小学生を指導している。 ・文科省事業「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」を受託。スポーツ少年団、総合型クラブ、中学校部活動、種目団体へトップアスリートを定期的に派遣。また、放課後遊びとしてトップアスリートを放課後の学校に派遣、トップ技術に触れ合う機会を作った。	③小中学生向け教室（スクール） 4 教室	出前授業 吉川小学校（キッズダンス、キンボール、カローリング）
	27年度	①団数 55 単位団（内訳：男子 632 人、女子 242 人、計 874 人、指導者 216 人）	毎年 10 月の鯖江市民スポーツの日のスポーツ少年団の体力測定、スポーツ体験コーナーの設置	・柔道団、ミニバスケット、サッカー、合気道、なぎなた、バドミントン、ボクシング、ソフトテニス、硬式テニスにおいて総合型クラブ活動の一環として小学生を指導している。 ・文科省事業「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト」を受託。スポーツ少年団、	③小中学生向け教室（スクール） 4 教室	出前授業 神明小学校（キンボール、ドッジビー、スカットボール、カローリング）

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

					総合型クラブ、中学校部活動、種目団体へトップアスリートを定期的に派遣。また、放課後遊びとしてトップアスリートを放課後の学校に派遣、トップ技術に触れ合う機会を作った。		
	28年度	①団数53単位団（内訳：男子584人、女子229人、計813人、指導者226人）	毎年10月の鯖江市民スポーツの日のスポーツ少年団の体力測定、スポーツ体験コーナーの設置		・柔道団、ミニバスケット、サッカー、合気道、なぎなた、バドミントン、ボクシング、ソフトテニス、硬式テニスにおいて総合型クラブ活動の一環として小学生を指導している。	③小中学生向け教室（スクール）3教室	
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり	体育協会が主催する市民ふれあい事業の体力測定の実施や体育協会の加盟団体としてスポーツ少年団活動の支援の実施		25年から27年の3年間に渡り、文科省委託事業を実施し、鯖江市内の少年団や部活動に対してトップアスリートを派遣した。アスリートとのふれあいにより、夢と希望が膨らむ子供たちが増えたのではないかと。また、放課後の時間にトップアスリートと触れ合う企画を希望の学校にて2年間実施したが、学校管理下の時間帯であることやアスリートへの謝礼金の問題があり、放課後出前講座などの継続した実施は難しい。	年度ごとの通常総会資料に記載のとおり	出前授業は吉川小、神明小で実行したが、立待、鳥羽小は申し入れなく実行の機会がない。
今後の課題		少子化の影響を受け、団員数が減少傾向にある。子どもたちにとって楽しく興味をもてる活動プログラムを提供していく必要がある。	スポーツ少年団と関係団体が連携して、スポーツ少年団の加入促進と指導者育成が必要		放課後は青少年スポーツが最も実施しやすい時間帯であり、もっと見直しをかけるべき。学校活動・少年団が主であるが、スポーツを苦手とする子供たちのためのプランを企画する等、クラブが提案できることはある。スポーツ課主導により、有効化させて欲しい。	学校と地域におけるスポーツ団体などが連携して、学校内外のスポーツ環境の充実を図る必要がある。	今後も子供たちのスポーツする機会を増やすため、学校に出向き活動したい。スポーツをする子は週に何回も活動するが、しない子にスポーツの楽しさを知ってもらうのに良い機会と思う。
新たな具体的展開		今後の課題と同じ			鯖江市内の小学校と連携（ニーズ調査）し、ニーズに合わせた放課後活動を実施する。	今後の課題と同じ	
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認	推進委員会の提言			

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる			
基本方針	(2)	青少年スポーツの振興			
基本方針詳細	(2)-2	青少年スポーツ環境の充実			
		子どもが自発的に体を動かす機会を増やし、その発達段階に応じて適切な指導を受け、それぞれの能力を十分発揮できるようにするため、学校と地域におけるスポーツ団体などが連携して、学校内外のスポーツ環境の充実を図ります。			
具体的施策	⑥	学校と各種スポーツ団体との連携強化			
具体的内容		スポーツ活動の場となる学校と各種スポーツ団体の連携を強化し、既存の公共スポーツ施設の有効活用、指導体制の充実に取り組みます。			
具体的展開		①学校体育施設の各種スポーツ団体への開放など、共同利用の促進【2-(3)-④で再掲】 ②学校と総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団など各種スポーツ団体との連携（学校と地域で活動できる指導者の養成・確保 など）（再掲）⇒現状は、総合型に学校の体育の先生も理事に入っているが指導はしてない。もっと学校と地域との連携をとる必要、指導者を確保する必要（鯖北・東陽は小学生会員、さばスポは中学生会員多い。）【1-(2)-②、1-(3)-①で再掲】			
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課			
	24年度	①開放学校利用状況 開放日数 延べ4,275日 利用人数 延べ147,727人			
	25年度	①開放学校利用状況 開放日数 延べ4,280日 利用人数 延べ147,761人			
	26年度	①開放学校利用状況 開放日数 延べ4,268日 利用人数 延べ147,511人			
	27年度	①開放学校利用状況 開放日数 延べ3,996日 利用人数 延べ133,368人			
	28年度				
これまでの進捗状況のまとめ		年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり			
今後の課題		引き続き、開放学校施設の効率的活用と利便性の向上に努める必要があるが、施設の長寿命化や適正管理水準維持のためには、利用にかかる受益者負担の在り方についても検討していく必要がある。			
新たな具体的展開					
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認	推進委員会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる		
基本方針	(3)	総合型地域スポーツクラブの活性化		
基本方針詳細	(3)-1	活動プログラムの充実、地域住民への周知		
		身近な地域における日常的なスポーツ活動の拠点として、活動プログラムの充実を図るとともに、クラブへの関心が高まるように、地域住民に対して活動内容の周知に努めます。		
具体的施策	①	活動プログラムの見直し・充実への支援		
具体的内容		各スポーツクラブでは、加入者の多様なニーズに適切に対応するため、常に加入者のニーズの把握に努め、随時活動プログラムの見直し・充実を図り、スポーツクラブとしての魅力向上に取り組みます。鯖江市では、各スポーツクラブの取り組みへの各種支援を行います。		
具体的展開		①性別や各年代別のニーズに応じたスポーツ教室などの活動プログラムの見直し・充実 ②各クラブの取り組みに対する支援（人材の派遣、スポーツに関する最新情報の提供 など） ③学校と総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団など各種スポーツ団体との連携（学校と地域で活動できる指導者の養成・確保 など）（再掲）⇒現状は、総合型に学校の体育の先生も理事に入っているが指導はしていない。もっと学校と地域との連携をとる必要、指導者を確保する必要（鯖北・東陽は小学生会員、さぼスポは中学生会員多い。）【1-(2)-②、1-(2)-⑥で再掲】 ④全国大会などで活躍した地元アスリートの指導者としての配置（新規）【3-(3)-⑤で再掲】		
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	さぼえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティースポーツクラブ
	24年度	クラブスクール・クラブサークル・クラブ教室の他、ホッケー・卓球・剣道・野球・ダンス支援の指導者派遣事業を実施した。また、地域貢献としてスポ婚を年に2回実施した。	③学校の体育教諭も理事に入っているが指導はなし。	
	25年度	クラブスクール・クラブサークル・クラブ教室の他、地域貢献として中高年のスポ婚・若者向けのスポーツ合コンを実施した。	③学校の体育教諭も理事に入っているが指導はなし。	
	26年度	クラブスクール・クラブサークル・クラブ教室の他、会員向けの交流会や地域住民の健康を考えたリスタートフレッシュアップ事業を実施、健康教室を各地域で展開した。	③学校の体育教諭も理事に入っているが指導はなし。	
	27年度	クラブスクール・クラブサークル・クラブ教室の他、会員向けのソフトテニス講習会・運動会を実施した。また、15周年記念事業として葛西紀明氏の講演会・ウォーキング&BBQ大会を実施した。2年目となる地域住民の健康を考えたリスタートフレッシュアップ事業も実施、健康教室を各地域で展開した。	③学校の体育教諭も理事に入っているが指導はなし。	
	28年度	クラブスクール・クラブサークル・クラブ教室の他、3年目となるリスタートフレッシュアップ事業での健康教室も各公民館で展開。新たに、健康課委託事業アクティブエイジング教室を実施中。若者のスポーツ取組としてスポ婚を実施する。	③学校の体育教諭も理事に入っているが指導はなし。	
これまでの進捗状況のまとめ		総合型地域スポーツクラブとしては毎年充実したプログラムを展開している。地域のニーズに応えるべく、小中学生はもちろんのこと、定年後からご年配、または独身若者まで、対象者の幅は広い。		1. 活動プログラムの見直し、充実 2. 人材派遣、情報の提供 3. 学校との連携 4. 地元アスリートの派遣等 市の支援事項に関しては、そのまま今後の課題になる。鯖江北は中央中部活が未入会のため、中学生会員はゼロに近い。
今後の課題		地域のニーズを探ること、指導者育成。	加入者の多様なニーズに適切に対応するため、常に加入者のニーズの把握に努め、随時活動プログラムの見直し・充実を図り、スポーツクラブとしての魅力向上に取り組む必要がある。	1. 活動プログラムの見直し、充実 2. 人材派遣、情報の提供 3. 学校との連携 4. 地元アスリートの派遣等 市の支援事項に関しては、そのまま今後の課題になる。鯖江北は中央中部活が未入会のため、中学生会員はゼロに近い。
新たな具体的展開				

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価		今後の 方向性の 確認		推進委員 会の提言	
---------------	-------------	--	-------------------	--	--------------	--

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる			
基本方針	(3)	総合型地域スポーツクラブの活性化			
基本方針詳細	(3)-1	活動プログラムの充実、地域住民への周知			
		身近な地域における日常的なスポーツ活動の拠点として、活動プログラムの充実を図るとともに、クラブへの関心が高まるように、地域住民に対して活動内容の周知に努めます。			
具体的施策	②	活動内容のPR			
具体的内容		地域住民の総合型地域スポーツクラブに対する認知度を高め、加入者数の増加・活動の活性化を図るため、総合型地域スポーツクラブの活動内容や加入方法などに関する情報提供に取り組みます。			
具体的展開		①鯖江市、各スポーツクラブのホームページの充実 ②広報さばえ、タウン誌、学校などを通じた情報提供 ③加入者募集のチラシの作成・配布			
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティスポーツクラブ
	24年度	①『総合型地域スポーツクラブ お知らせ』をタイトルにしたサイトを市HPに設け、総合型地域スポーツクラブの趣旨や概要を紹介するとともに、市内3つのクラブHPをリンクで紹介している。	古いホームページをリニューアルし、活動情報を盛りだくさんにまたいち早く伝えることが出来るようになった。	②広報さばえ、学校などを通じた情報提供 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	1. 年1回発行のパンフレット〈鯖江市総合型地域スポーツクラブ、クラブ会員募集〉 2. ホームページ作製
	25年度	①『総合型地域スポーツクラブ お知らせ』をタイトルにしたサイトを市HPに設け、総合型地域スポーツクラブの趣旨や概要を紹介するとともに、市内3つのクラブHPをリンクで紹介している。	ホームページを常時掲載。新しく3スポーツクラブ合同のパンフレットを作成し、鯖江市全世帯に配布。総合型クラブの周知ができた。	②広報さばえ、学校などを通じた情報提供 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	1. 年1回発行のパンフレット〈鯖江市総合型地域スポーツクラブ、クラブ会員募集〉 2. ホームページ作製
	26年度	①『総合型地域スポーツクラブ お知らせ』をタイトルにしたサイトを市HPに設け、総合型地域スポーツクラブの趣旨や概要を紹介するとともに、市内3つのクラブHPをリンクで紹介している。	充実したホームページを常時掲載。3スポーツクラブ合同のパンフレットを作成し、鯖江市全世帯に配布。じわじわとクラブの認知度が市民に浸透してきた。	②広報さばえ、学校などを通じた情報提供 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	1. 年1回発行のパンフレット〈鯖江市総合型地域スポーツクラブ、クラブ会員募集〉 2. ホームページ作製
	27年度	①『総合型地域スポーツクラブ お知らせ』をタイトルにしたサイトを市HPに設け、総合型地域スポーツクラブの趣旨や概要を紹介するとともに、市内3つのクラブHPをリンクで紹介している。	充実したホームページを常時掲載。3スポーツクラブ合同のパンフレットを作成し、鯖江市全世帯に配布。鯖江市全域から加入申し込みが増えた。	②広報さばえ、学校などを通じた情報提供 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	1. 年1回発行のパンフレット〈鯖江市総合型地域スポーツクラブ、クラブ会員募集〉 2. ホームページ作製
	28年度	①『総合型地域スポーツクラブ お知らせ』をタイトルにしたサイトを市HPに設け、総合型地域スポーツクラブの趣旨や概要を紹介するとともに、市内3つのクラブHPをリンクで紹介している。	充実したホームページを常時掲載。3スポーツクラブ合同のパンフレットを作成し、鯖江市全世帯に配布。鯖江市全域から加入申し込みが増えた。	②広報さばえ、学校などを通じた情報提供 ③総合型スポーツクラブで会員募集チラシを作成し、年度初に全戸配布を実施。	1. 年1回発行のパンフレット〈鯖江市総合型地域スポーツクラブ、クラブ会員募集〉 2. ホームページ作製
これまでの進捗状況のまとめ		毎年、継続的に実施している。	年度ごとの活動実績・活動状況に記載のとおり	情報提供するが、地域住民の総合型地域スポーツクラブに対する認知度が低い。	
今後の課題		少子化の影響で加入者数が伸び悩んでいるため、スポーツクラブに対する認知度を高める	既存の健康教室を広報誌でもっと発信する。鯖江市からの情報としてメディアにもっと投げ	地域住民の総合型地域スポーツクラブに対する認知度を高めるためにも、総合型地域スポー	市の配布物規制により、近年、広報は劣化している。3スポ共同のパンフレットも年1回で、

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

	ための効果的な情報発信が必要である。	かけて欲しい。	ツクラブの活動内容や加入方法などに関する 情報提供に取り組む必要がある。	市報掲載も紙面の制約があり、民間は金額が高 く、広報の重要性からも、衆知を求めて、改善 の要ありと考える。
新たな具体的展開	3つのスポーツクラブの加入状況や募集メ ッセージ、会員紹介などを新たにサイト上に掲 載し、関心を持ってもらうよう努める。		今後の課題と同じ	ホームページの有効活用を徹底する。魅力ある 内容と、宣伝。
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価	今後の 方向性の 確認	推進委員 会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる			
基本方針	(3)	総合型地域スポーツクラブの活性化			
基本方針詳細	(3)-2	運営基盤の安定・充実			
		自主財源の確保や運営体制での自立を促進し、組織としての継続性や透明性、「新しい公共」を担う拠点として地域スポーツの振興を図るという公益性を確保するため、運営基盤の充実を図ります。さらに総合型地域クラブの自立した活動が、これまでの行政主導によるスポーツ振興策にはない施策を展開していき、地域住民の要望にも対応できるなど、「新しい公共」として形成されるよう支援を図ります。			
具体的施策	③	総合型地域スポーツクラブの運営安定			
具体的内容		総合型地域スポーツクラブと行政との連携の円滑化、クラブに対する地域住民の信頼性の向上の確保を図り、総合型地域スポーツクラブを地域でのスポーツ活動の拠点として育成するため、各クラブの運営面での安定を図ります。			
具体的展開		①「新しい公共」を担うコミュニティ拠点としての総合型地域スポーツクラブの充実・発展（財政面での支援、NPO法人など法人格取得への支援 など）⇒公共サービスを住民、民間団体が主体となって提供する。			
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市スポーツ課	さばえスポーツクラブ	東陽スポーツクラブ	鯖江北コミュニティスポーツクラブ
	24年度	総合型地域スポーツクラブ育成事業補助金 6,000千円	会員数：1,095	会員数：490	活動者数 544 人（会員外の受講者も含む）
	25年度	総合型地域スポーツクラブ育成事業補助金 6,000千円	会員数：1,181	会員数：471	活動者数 674 人
	26年度	総合型地域スポーツクラブ育成事業補助金 5,600千円	会員数：1,205	会員数：444	活動者数 571 人
	27年度	総合型地域スポーツクラブ育成事業補助金 5,600千円	会員数：1,192	会員数：412	活動者数 578 人
	28年度	総合型地域スポーツクラブ育成事業補助金 5,600千円（見込み）	8月31日現在の会員数：1,136		
これまでの進捗状況のまとめ		市内3つの総合型地域スポーツクラブ（さばえスポーツクラブ、東陽スポーツクラブ、鯖江北コミュニティスポーツクラブ）に育成事業補助金を交付し、運営基盤の安定化と活動強化を図っている。	少々の上下はあるものの、安定した会員をキープできている。		1. 財政 市の補助金がないと自立できていない 2. 組織 人材確保と育成進展せず 3. 利用施設の確保と指導者確保 満杯状態で、会員増大の壁になっている。
今後の課題		市内3中学校区をカバーする総合型地域スポーツクラブが設立されて10年が経過する中、各クラブの財政基盤は安定化してきているが、少子化の影響もあり、加入者数が伸び悩む傾向が出てきている。	自立したクラブ運営を目指すのであれば、会費収入を改革していくべき。		財政、人材確保、クラブハウス設置、施設、指導者の確保は、すべてが関連するので、根本的な議論が必要になる。優先順位をつけて、目標に向かって一つ一つ着実に実行可能な施策が必要。
新たな具体的展開		総合型地域スポーツクラブは日常的なスポーツ活動の拠点であり、更なる活動内容の充実を図り、加入者増などの底辺拡大を図ることを基本に、連絡協議会を中心にしてこれまでに構築された組織・体制の評価を行い、今後の方向性を含めて検討していきます。			

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

中間評価（効果・有効性等）	進捗状況 の評価		今後の 方向性の 確認		推進委員 会の提言	
---------------	-------------	--	-------------------	--	--------------	--

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる				
基本方針	(3)	総合型地域スポーツクラブの活性化				
基本方針詳細	(3) - 2	運営基盤の安定・充実				
		自主財源の確保や運営体制での自立を促進し、組織としての継続性や透明性、「新しい公共」を担う拠点として地域スポーツの振興を図るという公益性を確保するため、運営基盤の充実を図ります。さらに総合型地域クラブの自立した活動が、これまでの行政主導によるスポーツ振興策にはない施策を展開していき、地域住民の要望にも対応できるなど、「新しい公共」として形成されるよう支援を図ります。				
具体的施策	④	クラブマネージャーの育成				
具体的内容	事業体としての総合型地域スポーツクラブ全体の経営管理（マネジメント）を行うクラブマネージャーの育成に取り組みます。					
具体的展開	①各クラブのクラブマネージャーの育成への支援（クラブマネージャーを対象とする研修会の開催、最新情報の提供 など）					
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	さばえスポーツクラブ			鯖江北コミュニティースポーツクラブ	
	24年度	アシスタントマネージャー（日体協公認）1名常勤				
	25年度	アシスタントマネージャー（日体協公認）1名常勤				
	26年度	アシスタントマネージャー（日体協公認）1名常勤				
	27年度	アシスタントマネージャー（日体協公認）1名常勤				
	28年度	アシスタントマネージャー（日体協公認）1名常勤 クラブマネージャー（日本スポーツ協会公認）取得中1名常勤				
これまでの進捗状況のまとめ	特に進んでクラブマネージャーの育成には取り組んでいない。			クラブマネージャー育成の必要性は、痛切に感じて、研修への参加も考えているが、事務局員の異動等あり、実行に至っていない。		
今後の課題	クラブマネージャーの育成は必須だが、やりがいに見合う賃金体制を整えるのが難しい。			クラブマネージャーを育てるべく、スポーツクラブとしての体制づくりと、クラブの活性化を図る必要がある。スポーツクラブは、クラブマネージャーの力次第で大きく変わる。		
新たな具体的展開						
中間評価（効果・有効性等）	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる				
基本方針	(3)	総合型地域スポーツクラブの活性化				
基本方針詳細	(3)-3	クラブ間の交流・連携				
		(一社) 鯖江市体育協会を中心として、3つの総合型地域スポーツクラブ間の交流・連携を促進し、それぞれのクラブの活性化、加入者相互の交流、指導体制の充実などを図ります。				
具体的施策	⑤	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の継続・発展				
具体的内容	各クラブの相互連携と連絡調整を図るため、平成22年から本格運用された総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の継続・発展に取り組みます。					
具体的展開	①総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の定期的な開催					
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市体育協会			さばえスポーツクラブ	
	24年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、3つのクラブの合同パンフレット作成、合同研修会の実施、体育協会主催のイベントへの協力			年に3回の連絡協議会開催。ごうどスポーツクラブへの視察。	
	25年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、3つのクラブの合同パンフレット作成、合同研修会の実施、体育協会主催のイベントへの協力			年に3回の連絡協議会開催。全国スポーツクラブ会議(村上市)へ参加。	
	26年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、3つのクラブの合同パンフレット作成、合同研修会の実施、体育協会主催のイベントへの協力			年に3回の連絡協議会開催。イニシアチブをどこが取るか?という問題についての話し合いが平行線のまま。	
	27年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、3つのクラブの合同パンフレット作成、合同研修会の実施、体育協会主催のイベントへの協力			年に2回の連絡協議会開催。規約の見直し。	
	28年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、3つのクラブの合同パンフレット作成、合同研修会の実施、体育協会主催のイベントへの協力			連絡協議会開催の気配がない。	
これまでの進捗状況のまとめ	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて3つのクラブの入会条件の統一や体育協会、各クラブの事業の実施における協力体制を築いてきた。			年に何回か連絡協議会を開いても、毎年同じことの話し合いの繰り返しが続いた。イベントの共有、会費統一、クラブ合併等、話し合うべきことは多い。スポーツ課・体協・3クラブ共に目の前の仕事に追われ、前向きに進まないのが現状。		
今後の課題	連絡協議会での各クラブの協力体制は、事業実施の一部に留まっており、事業拡大を図るためにも、体育協会を含めたさらなる連携強化が求められている。			課長・理事長交代(さばスポ)があり、連絡協議会開催がおざなりになっている。連絡協議会の必要性がどれほどか?を各クラブで再認識するべき。		
新たな具体的展開						
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる				
基本方針	(3)	総合型地域スポーツクラブの活性化				
基本方針詳細	(3) - 3	クラブ間の交流・連携				
		(一社) 鯖江市体育協会を中心として、3つの総合型地域スポーツクラブ間の交流・連携を促進し、それぞれのクラブの活性化、加入者相互の交流、指導体制の充実などを図ります。				
具体的施策	⑥	合同での活動プログラム、イベントなどの実施				
具体的内容		3つの総合型地域スポーツクラブの連携・協働を図り、より魅力的な活動プログラムやイベントなどの実施に取り組みます。				
具体的展開		①単一のクラブでは対応が困難な種目の合同での実施 ②3クラブ合同でのスポーツ大会・イベントの開催 ③3クラブ合同での加入者募集チラシの作成				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	市体育協会			さばえスポーツクラブ	
	24年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、合同パンフレット作成や、各クラブどうしのイベント開催時の協力			連絡協議会でスポーツフェスタを開催。	
	25年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、合同パンフレット作成や、各クラブどうしのイベント開催時の協力			3クラブ合同の保存版パンフレットを作成、鯖江市全世帯に配付した。	
	26年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、合同パンフレット作成や、各クラブどうしのイベント開催時の協力			3クラブ合同の保存版パンフレットを作成、鯖江市全世帯に配付した。	
	27年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、合同パンフレット作成や、各クラブどうしのイベント開催時の協力			3クラブ合同の保存版パンフレットを作成、鯖江市全世帯に配付した。	
	28年度	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて、合同パンフレット作成や、各クラブどうしのイベント開催時の協力			3クラブ合同の保存版パンフレットを作成、鯖江市全世帯に配付した。	
これまでの進捗状況のまとめ		総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を通じて3つのクラブの合同パンフレットの作成、また各クラブ間でイベント開催時の協力体制がみられ、県内ではトップクラスの活動が実施されている。			3クラブ合同のパンフレットは各家庭に届き、新規加入も増え、総合型クラブが市民に浸透しつつあると感じる。しかし、合同パンフレットであるがゆえ、会費の違いを指摘されたり、クラブ間の行き来の問題等が発生する。クラブ間の説明をしても分かりにくいとの意見が多々ある。市民目線にしてみれば、総合型クラブ・体協の区別もついていない。合同イベントはまだ充実しているとはいえない。	
今後の課題		総合体育館やスポーツ交流館などは、体育協会と総合型地域スポーツクラブで活動場所が競合しており、体育協会の定期利用団体とスポーツクラブの教室は一部で差異がなく使用料徴収(減免と有料)の面で問題がある。互いの事業拡大には、さらなる連携を必要としている。			分かりやすいクラブにするべきか? 合同での活動が可能なのか? 検討する必要がある。	
新たな具体的展開					話し合い、につきる。	
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	

スポーツ振興計画 具体的施策 進捗状況確認・評価シート 基本目標1

基本目標	1	生涯スポーツに親しむひとを育てる				
基本方針	(3)	総合型地域スポーツクラブの活性化				
基本方針詳細	(3) - 3	クラブ間の交流・連携				
		(一社) 鯖江市体育協会を中心として、3つの総合型地域スポーツクラブ間の交流・連携を促進し、それぞれのクラブの活性化、加入者相互の交流、指導体制の充実などを図ります。				
具体的施策	⑦	指導者間の交流				
具体的内容		(一社) 鯖江市体育協会を中心となり、スポーツ少年団などの他のスポーツ団体も含めて、指導者間の交流を図り、指導力の向上や活動プログラムの魅力向上に取り組む。				
具体的展開		①3クラブ合同での指導者研修などの開催(新規) ②公認スポーツ指導者やスポーツ推進委員などと総合型地域スポーツクラブ指導者の交流促進				
年度ごとの活動実績・活動状況	事業主体	さばえスポーツクラブ				
	24年度	特になし				
	25年度	特になし				
	26年度	特になし				
	27年度	特になし				
	28年度	特になし				
これまでの進捗状況のまとめ		指導者間の交流は、大変必要なことと理解しているが、おざなりにしてきた部分である。				
今後の課題		鯖江市内の指導者が種目ごとでも集まることが出来れば、交流が生まれ、新しい展開も見え、育成に希望が持てる。				
新たな具体的展開		ぜひ、スポーツ課主導で、指導者間の交流を実現して欲しい。				
中間評価(効果・有効性等)	進捗状況の評価		今後の方向性の確認		推進委員会の提言	